

(別紙2-3)

事業所名:社福)白寿会グループホームかぶとむし

作成日: 平成 30年 7月 31日

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6 (5)	一般的に拘束に該当すると思われる事項だけではなく、ベットの位置、施錠の方法など、より広義の拘束に該当しないか折に触れ職員間で話合っている(ユニット会議等)玄関自動ドアは、事務不在の場合、手動に切り替えるか戸締りを行っている(その際、玄関窓にお知らせを掲示している。離設防止)	時間を設け、定期的な勉強会を実施し、職員のスキルアップを目指す。	・毎月行っているリーダー会で翌月の勉強会について話し合い、企画・実施していく。 ・虐待/身体拘束防止については、「その範囲に該当しないか」を毎月のユニット会議でも検討するが、3ヶ月に1回はテーマに挙げ全員勉強会を実施する。	8ヶ月
2	33 (12)	ご家族と早い段階で話し合い、次に起こりうる可能性を話合って不測の事態に備えている。またその件を職員へ伝え情報を共有している。なお、看取りについては実施していない。		・家族会のテーマの一つに挙げる。 ・前項と同様。	8ヶ月及び 次年度家族会まで
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。